

宝満山ボッカ～難所ヶ滝まで～

【報告者】E入

【日時】2017年2月11日

【天候】晴れ/くもり

【参加者】E入、会員外1名

《コースタイム》

10:30 竈門神社 → 13:10 宝満山山頂 → キャンプセンター → 15:10 難所ヶ滝 →
16:30 キャンプセンター → 17:50 竈門神社

《 報 告 》

雪山講習の合間のトレーニングと、寒波がまた来たので難所ヶ滝もついでに見に行ってきました。前週の登山学校では重量が10キロちょいくらいでしたが、途中でバテて講師に荷物を持っていただく場面もありました。今回は15キロに挑戦。先週の今週でいきなり5キロ増やすのもどうかと思いましたが、きつかったら途中で水は捨てるつもりで…。結局、凍結している事もあり足取りも遅く、本当は15時頃下山の予定でしたが大幅に時間がずれこみ、復路は水6キロ分捨てることになりました。

まず出発が30分遅くなったのと、岩の凍結による遅れ、ボッカで遅れをとる分の読みが甘かったです。そして同行した友人がまさかの登山靴を玄関に忘れてきて、ローカットの布スニーカー。スパッツもアイゼンも無く、何しに来たんやという状態。でも滝がどうしても見たいという事で決行。登山靴じゃなくても靴下の上からビニル袋を履けばいけるという小ネタを以前耳にはさみましましたので、持っていたビニル袋を装着してもらった上で、スパッツと軽アイゼンを貸し、軽アイゼンも早々に装着してもらうことに。自分は雪がしっかりある場所のみアイゼンをつけたので、ふもとの階段は凍結して滑りやすく、時間をとられてしまいました。

宝満山山頂は時間が押したので、どら焼きを食べてすぐ出発。行動食は他はスニッカーズミニを2個。冬は硬くて歯が折れそうなので次からスティック羊羹にするつもりです。その後、難所ヶ滝まで行って、溶けかかっていたものの、つららを見ることができました。日没前には下山したいので、滝からまた縦走路へ。戻る際、急登の前で水は捨てました。無念。でも足取りは軽くなりました。下りこそ滑りやすかったですが、ストックがあったので少しはマシでした。無事に明るいうちに下山できましたが、今回は装備の重要さを痛感しました。友人は一応しもやけ等にはなっとなさそうでしたが、ビニル袋は破れてました、意味がなかった。宝満山なら大丈夫みたいなところはお互いあったと思いますが、友人には次回装備が不足したら一緒に行かないと喝を入れつつ、そして自分もメンバーの装備に事前に細かく気を配りたいと思います。